

## すべての県立高校にエアコンの設置を 教育委員会へ申し入れ



猛暑・酷暑の中、豊田市の小学生が熱中症で死亡するという痛ましい事故が起り、県下の自治体では小中学校の普通教室へのエアコンの設置を決めています。

しかし、県立高校では、保護者負担によるエアコンが設置されていますが15校には未設置です。エアコン設置の高校でも、音楽室等の特別教室には未設置の高校もあります。

共産党県議団は12月19日、すべての普通教室と特別教室、体育館等への県費によるエアコン設置、保護者負担で設置されているエアコンについての県費負担への切り替えを求めて申し入れを行いました。

県は、今は特別支援学校へのエアコン設置等に力を入れている、公費負担については他県の状況を研究している段階であると述べるにとどまりました。

しもおく議員は、「こんなに気温が上がっている中で保護者負担のままなんてあり得ないのでないか」と追及し、わしの議員も、「公費で負担するのは当然」と訴えました。

## 城北つばさ高校(単位制による定時制高校)を視察 わしの・しもおく両議員

わしの、しもおく両議員と岡田ゆき子名古屋市議は12月25日、北区の城北つばさ高校を視察しました。

城北つばさ高校は2017年4月に開校されました。「必履修課目」等を74単位以上修得すれば高校卒業となる定時制の高校で、昼間部と夜間部があります。

校長は、「昼間部は小中学校時代に不登校や長期欠席だった生徒がほとんど。その生徒たちが、人とコミュニケーションをとれるようになつたり、明るくなつたりしています」と同校の特徴と役割を紹介してくれました。

校長は、「昼間部は小中学校時代に不登校や長期

欠席だった生徒がほとんど。その生徒たちが、人とコミュニケーションをとれるようになつたり、明るくなつたりしています」と同校の特徴と役割を紹介してくれました。また、スクールソーシャルワーカーが今年度から配置(週2日)されたことを大変ありがたく思つていいとのことでした。

校長の案内で、夜間部、昼間部を見学しました。体育館はとても小さく全校生徒が入れそうにありません。トイレの洋式化がほんの一部されていましたが、全体としては古いままで。様々な困難を抱える生徒が通う学校だからこそ、ハード面でもソフト面でも積極的に支えていくことが必要です。



バスケットコート1面分の小体育館

## 教員の長時間労働をなくすために 教育委員会と懇談



共産党愛知県委員会と県議団は12月25日、教員の長時間労働問題で教育委員会と懇談を行いました。この懇談には、すやま初美県常任委員・参院愛知選挙区予定候補とわしの、しもおく両議員が参加しました。

すやま初美さんが、中央委員会発行のパンフ「教職員の働き方を変えたい 教職員を増やし、異常な長時間労働のは正を一学校をよりよい教育の場に」の内容について説明しました。教育企画課の職員は、「教職員の働き方のルール化はそのとおり。正規職員がちゃんといることも必要」と共産党の提案に賛同の意見を寄せました。また、「国に対しては教職員の増員を要望している。学校でやるべき業務を絞り込むモデル事業や労働時間把握をICカードで行う試行などを行つていい」と述べました。

わしの議員は、非正規の教員が多い問題を指摘し、しもおく議員は、県独自でも力をつくしてほしいと要望しました。